

4月24日説明会時のご質問への回答

Q：どうしてこんなに幼稚園児が少なくなったのか

A：平成27年度子ども子育て新制度の下、保育所申込が「保育に欠ける幼児」から「保育を必要とする」に要件が拡大され、求職中の保護者の方等入所申込ができるようになり保育所入所申込数の増加の影響、パート等働き方が多様化したこと等による保育所ニーズの高まり、平成27年度から民間保育施設の整備が進んだことにより民間保育園において多くの幼児を受入れることができるようになったこと等が影響していると考えております。

Q：認可保育園から認定子ども園移行園は、具体的に何園あるのか。

A：石小校区内にあります認可園の内、1園は、来年度から移行したいとしており、1園は、準備ができ次第申請を行うとのことです。1園は、検討中としており、合計3園が移行予定としております。

Q：私立保育園から子ども園へ移行するとの要望があったのか、石垣市から私立保育園に認定子ども園整備の打診をしたのか、子ども園は、別の業者が来るのか

A：認定子ども園への移行要望につきましては、上記の回答のとおりです。よってこども園への移行について本市から整備の打診を行うことは、ありません。また、石垣小学校校区の現状は、見込み数に対して確保数が足りていることから新たな園、業者を公募することは、ありません。

Q：「受入れ施設ができるまで」とあるがいつまでか

A：みやまえ幼稚園に通う保育を必要としない子ども達全ての園児が、移行した民間の子ども園において受入が可能となるまでの間は、みやまえ幼稚園にて園児をお預かりいたします。

Q：放課後児童クラブの具体的プラン、6月開所は決まっているのか、委託業者、費用負担はい

くらか

A：関係機関（教育委員会、石垣小学校、運営委託事業者、子育て支援課）で調整した結果、下記のとおり、実施いたします。

入所対象児童は、石垣小学校に通う児童で、定員35人です。

開所予定は、6月を予定しており、委託業者は、公募を行い、審査の結果、市内にて放課後児童クラブの運営実績のある「一般社団法人どんぐりの森」が運営を行います。

入所対象児童の募集を5月13日～20日までの期間、受付しております。

利用につきましては、利用選考を行い、決定後利用開始となります。利用料等につきましては、月額7,000円としており、その他に実費負担（おやつ・教材費・長期休み利用料等）が必要となります。

Q：「放課後児童クラブを新設」具体的に計画、予算があるのか

A：現計画では、石垣小学校建替えに伴い旧校舎の解体が行われるまでは、本年度使用開始する利用可能教室で実施される予定としております。小学校建替えの進捗にあわせ放課後児童クラブの施設整備につきましても予算を確保しつつ整備を行ってまいります。

Q：定員割れが生じる可能性があるとのことだが、待機児童は、0か

A：平成29年度、30年度の待機児童の現状は、1歳児が主となっております。幼稚園に通う対象年齢の幼児3歳、4歳、5歳児に待機児童は、いない状況です。

Q：地域にいる人の活用を図る必要がある

A：保育士確保につきましては、市内に保育士資格を有する方の内、6ヶ月以上保育施設で働いていない場合、保育士として復帰し働く方には、40万円の復職準備金を補助し、また、資格取得環境を整えるため、市内の保育士養成校に入学される方には、70万円の学資貸付を行ってお

ります。また、平成 29 年度から保育士筆記試験を年 2 回、市内において実施及び保育士試験対策講座を開講するなど地元の方々の人材育成施策を行い、新たな資格取得者の確保に取り組んでいます。是非、市民多くの方に活用頂き、保育士確保を図りたいと考えております。

Q：小学校校舎の高層化の低減を行った場合の予算は、学習環境を整えるほうにまわるのか

A：石垣小学校の建替えに際し、校舎の高層化が低減されたとしても、常時児童が学習する普通教室や理科室、家庭科室などの特別教室、また、職員室やトイレなどの必要な学校施設数が減少するものではございません。よって、建替えに係る事業費が余るということにはなりません。

教育委員会としましては、石垣小学校の学習環境向上のため、早期の建替えに取り組んでまいります。

Q：字石垣は、一番住みやすい所となるように行政に考えてほしい。

A：石垣小学校校区は、現時点においても各小学校校区の中で、多くの保育施設（認可園・認可外等）を有している地域となっていることから、とても子育てし易い地域となっていると考えます。今後共、民間事業者等とご協力を頂きながらどの施設においても質の高い教育・保育が受けられるよう取り組みを進めてまいります。